

2023年のPDグランプリカップ・ラテン決勝種目順は次の通り行われます。

Cha Cha Cha : Solo -> Samba : Group -> Rumba : Group -> Paso Doble : Duel -> Jive : Group

Cha Cha Cha 課題フィギュア(12小節)

課題 No.	フィギュア No.	課題フィギュア	男子タイミング	男子の終わりのアラインメント (参考)	GOE 評価対照
男子 逆壁斜めに面して始める					
1	1	シンコペーテッド・オープン・ヒップ・ツイスト	234&1 (23)4&1	壁に面して終わる	シャッセ、ロックのボディ・アクション、ヒップ・デザイン
	2	ホッキー・スティック ※男子はロンデ・シャッセ	234&1 234&1	逆壁斜めに面して終わる	
2	3	コンティニューアス・オーバーターン・ロック	23&4&1	逆壁斜めに面して終わる	タイミング表現とスウィブル・アクション
	4	スウィブル・フロム・オーバーターン・ロック (最終歩で男子左へ1/8、女子右へ1/8)	234&1	中央に背面して終わる	
	5	スウィブル・ヒップ・ツイスト	234&1	壁に面して終わる	
	6	クロウズ・ヒップ・ツイスト・スパイラル の 6-10	234&1	LODに面して終わる	
3	7	キューバン・ブレイクス・トゥ・ライト ※教本通りの回転量を使用	2&3&4&1	LODに面して終わる	アラインメントの明確な切り替え シンクロナイゼーション
	8	キューバン・ブレイクス・トゥ・レフト ※教本通りの回転量を使用	2&3&4&1	LODに面して終わる	
	9	ニューヨーク・トゥ・ライト ※男女ともロンデ・シャッセを使用	234&1	LODに面して終わる	
	10	タイム・ステップ・シャッセ (右左右、左右左) ※Opp、ホールド無しで踊る	2&3 4&1	LODに面して終わる	

No.4 男子は、ステップ4-5の間で左へ1/8回転し、壁に面して横へ(サイド・ウォーク) 両足を開いてボディ・リカバー。  
女子は、ステップ5の終わりで右へ1/8回転のスウィブルしLODに面して、右斜め・右アングル・ポジションで終わる。

欠点判定の対象となる項目

教本の項目の内、「カッパル・ポジション」、「リード・ホールド、シェイピング」、「足の位置」が正しくない場合は欠点として判定されます。基本的な「フット・アクション」のミスも欠点として判定されます。上の表の※印の指定内容は指示通りでない場合欠点として判定されます。

Cha Cha Cha 課題フィギュア注意事項

- 課題フィギュアは、イントロ終了直後の小節より、一番最初に上記の順番通りに3つの課題フィギュアグループを連続して演技して下さい。課題フィギュアを終了した後のフィギュアの指定はありませんので、自由なコリオグラフィーを続けて踊って下さい。
- 課題1の前に、概ねイントロに収める範囲内であれば、導入のためのステップや振り付けを踊ってもかまいません。  
**Cha Cha Chaはイントロ8小節の曲**を使用します。
- 課題フィギュアの詳細は「WDSFダンススポーツ教本」のテキストを確認してください。教本DVDも参考にしてください。
- 演技方法は上記の表に従うものとし、フット・ポジション、カッパル・ポジション、ホールドなどフィギュアの本質的特長を崩さない範囲であれば、**ヒップ・デザイン、ヒップ・マスキュラー・アクション、ボディマスキュラー・アクションはテキストと一致していなくても表現のために変化させることは認められます。**フット・アクションは、ボディ・アクションや音楽表現などのために変化したと判断できる場合はテキストと一致しなくても認められます。
- タイミングは基本的なタイミングを記載しています。**シャッフル・タイミングやその他音楽表現のためにタイミングを変化させることは自由です。**但し、各課題フィギュアグループ(課題No.単位)の小節数は厳守してください。またステップ数も変化させないでください。
- 回転量、アラインメントは、概ね合っていれば、表現のために変化してもかまいません。
- 決勝ソロ競技の演技時間は、イントロを含めて**約1分30秒**とします。
- 決勝ソロ競技の曲はヒートごとに変わりますが、小節数の基本的な構成は原則として同じものを使用します。
- 絶対評価審判方式では、曲がかかっている間を演技時間とし、踊る必要のないイントロ部分であっても演技としてプレゼンテーション等の評価対象となり、バランスを崩す等の欠点があれば減点の対象となります。

2023年ソロ競技：スタンダード課題フィギュアについて  
種目 Slow Foxtrot

2023年4月10日

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

2023年のPDグランプリカップ・スタンダード決勝種目順は次の通り行われます。

Slow Foxtrot : Solo -> Tango : Group ->Waltz : Group -> Vienesse Waltz : Duel -> Quickstep : Group

Slow Foxtrot 課題フィギュア(12小節)

課題 No.	フィギュア No.	課題フィギュア	男子タイミング (女子タイミング)	男子の終わりのアラインメント (参考)	GOE 評価対照
男子 中央斜めに面して始める					
1	1	フェザー・ステップ (ステップ1はアウトサイド・パートナー・ポジションでも良い)	SQQ	中央斜めに面して終わる	ライズ・アンド・フォールとボディ・アクション
	2	テレマーク・トゥ・PP (1/8アンダーターン、次のステップは壁斜めに動く)	SQQ	壁に向けて、ボディは逆壁斜めに面して終わる	
	3	ランニング・ウィーブ・フロム・PP の 1-4	SQ&Q	壁斜めに背面して終わる	
	4	リバース・ウェイブ の 4-6 (先行ステップとのステップ1の間で左へ1/8)	SQQ	LODに背面して終わる	
2	5	バック・フェザー (クローズド・ポジションで始める) ※ステップ3はフット・リカバーしない	SQQ	壁斜めに背面して終わる	ダイレクションの明確な切り替えとバランスのコントロール
	6	クイック・オープン・リバース・ターン の 1-4	SQ&Q	新LODに背面して終わる	
	7	リバース・ピボット	Q	LODに面して終わる	
	8	ダブル・リバース・スピン	QQQ (QQ&Q)	壁斜めに面して終わる	
	9	スリー・ステップ	SQQ	壁斜めに面して終わる	
3	10	カーブド・フェザー	SQQ	逆壁斜めに面して終わる	スピードのコントラスト、ピボットとピボッティングアクション
	11	アウトサイド・スピン	&QQ	新LODの中央斜めに面して終わる	
	12	コンティニユアス・スピン (2回) ※LODへ動く	QQQQ	中央斜めに面して終わり、次のステップLODへ	
	13	ナチュラル・ツイスト・ターン・ウィズ・インビタス・トゥ・PP (先行ステップとの間で右へ1/8) (1/8オーバーターン)	SQ&QQQ	ほぼ中央斜めに向けて、ボディはほぼLODに面して中央斜めに動く	

No.3 壁斜めに移動する

No.12 アラインメント・回転量はViennese Waltzのコンティニユアス・スピンを参照。まっすぐLODへ進行する。

No.13 先行ステップとステップ1の間で右へ1/8回転しステップ1をLODへ、さらにフィギュア全体で1/8オーバーターンする。

欠点判定の対象となる項目

教本の項目の内、「**カップル・ポジション**」、「**足の位置**」が正しくない場合は欠点として判定されます。基本的な「**フット・アクション**」のミスも欠点として判定されます。上の表の※印の指定内容は指示通りでない場合欠点として判定されます。

Slow Foxtrot 課題フィギュア注意事項

- 課題フィギュアは、イントロ終了直後の小節より、一番最初に上記の順番通りに3つの課題フィギュアグループを連続して演技して下さい。課題フィギュアを終了した後のフィギュアの指定はありませんので、自由なコリオグラフィーを続けて踊って下さい。
- 課題1の前に、概ねイントロに収める範囲内であれば、導入のためのステップや振り付けを踊ってもかまいません。  
**Slow Foxtrot はイントロ4小節の曲**を使用します。
- 課題フィギュアの詳細は「WDSFダンススポーツ教本」のテキストを確認してください。教本DVDも参考にしてください。
- 演技方法は上記の表に従うものとし、フット・ポジション、カップル・ポジション、ホールドなどフィギュアの本質的特長を崩さない範囲であれば、**スウェイ、ローテーション、エクステンション、ヘッドのポジションはテキストと一致していなくても表現のために変化させることは認められます。**フット・アクションは、ボディ・アクションや音楽表現などのために変化したと判断できる場合はテキストと一致しなくても認められます。
- タイミングは基本的なタイミングを記載しています。**シャッフル・タイミングやその他音楽表現のためにタイミングを変化させることは自由です。**但し、各課題フィギュアグループ(課題No.単位)の小節数は厳守してください。またステップ数も変化させないでください。
- 回転量、アラインメントは、概ね合っていれば、表現のために変化してもかまいません。
- 決勝ソロ競技の演技時間は、イントロを含めて**約1分30秒**とします。
- 決勝ソロ競技の曲はヒートごとに変わりますが、小節数の基本的な構成は原則として同じものを使用します。
- 絶対評価審判方式では、曲がかかっている間を演技時間とし、踊る必要のないイントロ部分であっても演技としてプレゼンテーション等の評価対象となり、バランスを崩す等の欠点があれば減点の対象となります。